

2016 年度数学教育学会 夏季研究会（関東エリア）

テーマ：変容期の数学教育を、社会受容、哲学、歴史の中から捉える

日時 2016 年 7 月 24 日（日） 9:30～17:30

会場 文教大学 教育学部（越谷キャンパス）13号館2階
13201（第1会場）、13202（第2会場）

顧問 峰村勝弘（日本女子大学名誉教授）
実行委員長 白石和夫（文教大学教授）
実行委員 石井 勉（文教大学准教授）

プログラム

9:00 受付

9:30～11:00 課題発表 学会課題 SG 報告

- ① 落合卓四郎（東京大学名誉教授）、
河合博一（駿台甲府小学・中学・高等学校元校長）
「次の時代を見越した新しい数学教育を考える」
- ② 町田彰一郎（埼玉大学名誉教授）
「数学教育の今日的課題とは、特にデータ社会に向けて」
- ③ 白石和夫（文教大学教授）
「Computational Thinking に向けた教材開発」

11:10 小学校算数領域分科会（第1会場）

- ① 石井 勉（文教大学准教授）
「求積指導における式を読む活動に関する一考察」
- ② 町田彰一郎（埼玉大学名誉教授）
「課題発表に関連して；アクティブ・ラーニングに向けた教材開発」

専門学校・大学教育分科会（第2会場）

- ① 鈴木桜子（昭和大学教養部）
「大学初年次の授業実践～確率質量関数と確率密度関数」
- ② 森 園子（拓殖大学）、船倉武夫（千葉科学大学）
「経済活動における数学 -金利とローン返済における授業実践-

12:10 昼食

13:00 指定発表

- ① 鈴木俊洋（上智大学（非常勤講師））「数学的对象とは何か」
- ② ①を受けて、今日の数学教育の状況を現象学の立場から話合い
Experimental Mathematics、Realistic Mathematics Education 等
- ③ 竹内光悦（実践女子大）
「科学的探究につなげるデータサイエンス教育支援」
- ④ 石垣春夫（早稲田大名譽教授）
「教材分析に必要なペイジアンネットワーク」

15:00 シンポジウム 「21世紀の数学教育を考える素地として
日本の数学教育を歴史の中に振り返る ー江戸から平成ー」

コーディネータ 町田彰一郎（埼玉大学名譽教授）

- ① 「日本の数学教育の成立過程と現代化以前まで引継がれていたものとは」
町田彰一郎（埼玉大学名譽教授）
- ② 「「現代化」;それに取り組んだ数学者の見識・不見識に学ぶ。」
藤田 宏（東京大学名譽教授）
- ③ 「「現代化」を当時の学校現場はどのようにとらえようとしたか。」
神山輝夫（元埼玉県高等学校数学教育研究会会長）
- ④ 「Post 現代化の教育課程で強調されたこと。」
吉川 成夫（國學院大學教授、元文部科学省教科調査官）

17:30 終了

* 参加費・資料代、直接会場にてお願い致します。

学会員、一般 2000円、 学生 500円

* レストラン等の案内は受付に掲示しますが、昼食時間が限られておりますので、駅等で事前に購入されてきて会場で食べることもできます。

連絡先:参加問い合わせ等

文教大学教育学部 白石和夫
〒343-8511 越谷市南荻島 3337

E-mail : shiraish@koshigaya.bunkyo.ac.jp

Tel 048-974-8811 (代)

交通案内

東武スカイツリーライン北越谷駅下車，西口から徒歩 10 分。
人道橋（出津橋）で元荒川を渡ればすぐです。

北越谷駅までの経路

スカイツリーライン北越谷駅には，準急，区間準急，普通が停車します。
急行，区間急行利用の場合は，越谷駅，または，せんげん台駅で乗り換え。
武蔵野線利用の場合は，南越谷駅でスカイツリーライン新越谷駅に乗り換え。
東京メトロからの場合，日比谷線と半蔵門線がスカイツリーラインに直通します。
ただし，半蔵門線の場合，大半が急行なので，越谷で普通に乗り換え。

北越谷駅西口から会場までの経路



構内に駐車スペースがないので，自家用車不可。公共交通機関をご利用ください。

会場は、13号館2階です。体育館の隣。



13号館は4階建ての建物です。

